



2010年5月15日

みなさん、こんにちは。春季特別展『ピカソ展』が無事終了しました。たくさんのご来場、ありがとうございます。偶然にも会期中にピカソの絵画がニューヨークのオークションで過去最高額で落札されましたね。そのお値段は、なんと日本円にして約101億円だったそうですよ！驚きですよ〜。

● 『ピカソ展』、入場者数1万人突破！

5月5日(水)こどもの日、うらかな午後に来場された齊藤大輔さんが、ピカソ展の記念すべき1万人目の入場者となりました。



1万人目となった齊藤さん(真ん中)

入口で声をかけられ、驚いた顔をされた齊藤さんでしたが、快く記念撮影に応じて下さいました。その後、館長から記念品の贈呈がありました。

今回の『ピカソ展』は5月9日(日)に閉会しましたが、みなさんいかがでしたか？ピカソ検定はお楽しみいただけましたでしょうか？

ピカソの多様な作風をご覧になって、色々と感じられた方もいらっしゃると思います。そんな方のご意見を聞きたくて、エントランスホールに『みんなの「これぞ!」「これも?」ピカソ』の投票箱を設置して、みなさんに投票していただきました。

「これぞ!」に一番多かったご意見は、ポスターでおなじみの「女の顔」でした。「ひとりの人物を描いていたとは!」といった驚きの声もありました。「これも?」の意見はさまざまでしたが、恋人ジャクリーヌを描いたどこかやさしい雰囲気ただよう作品に票が集まりました。

たくさんのお投票、ありがとうございました。

● 明石市立文化博物館からのおねがいです！

最近暖かくなってきましたね。特に暑かったゴールデンウィーク中、この坂道を上って来たお客様の中には汗を拭きながら鑑賞されていた方がたくさんいらっしゃいました。紫外線が強くなってきたこの時期、女性に欠かせない物が日傘ですよ。

でも傘や棒状(杖などの補助器具をのぞく)の持ちものは、意図しない間にほかのお客様の鑑賞の妨げになったり、作品に当たってしまうことがあります。そのため、博物館に入ったら、「日傘は濡れていないから」と思わずに、傘立てに入れてください。折りたたみの日傘も折りたたんでカバンの中へお願いします。



● 郷土作家シリーズ『天地をひらく — 豊饒の女神の世界 — 松本雄治彫刻展』が始まりました。

毎年恒例の明石ゆかりの郷土作家シリーズ企画展を今年も開催しています。第19回目の今年は彫刻展です。

明石市立文化博物館が開館してから19年、今まで日本画展や陶芸展といった様々な特別展や企画展が行われてきましたが、実は彫刻だけを取りあげた展覧会というのは、今回が初めてとなります。



《 走るお天道さま 》 松本雄治

今回は特別展示室だけでなく、ロビーや小さな展示室にも展示しており、ブロンズやテラコッタで制作された自然界に宿る神々の姿、生命の神秘などを表現した松本雄治氏の彫刻が館内いっばいに広がっています。

これまで当館であまり触れるご紹介する機会がなかった彫刻作品を、この機会にぜひご観賞ください。

会 期：5月15日(土)～6月13日(日)

休館日：毎週月曜日

観覧料：大人200円、大高生150円、中小生100円

20名以上の団体は2割引き。高年手帳(65歳以上)・障害者手帳の提示で半額

【関連イベント】

作家(松本雄治氏)によるギャラリートーク

日時：5月22日(土)、23日(日) 午後2時～2時30分(両日とも)

会場：1階特別展示室およびロビー

当館学芸員による展示品解説

日時：6月6日(日) 午後2時～2時20分

会場：1階特別展示室およびロビー

*いずれも申込不要(当日直接会場へお集まりください)

*参加費無料(ただし要観覧料)